



歯学部創設30周年



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 五十嵐 武
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>

昭和大学歯学部は創設30周年を迎えました。

新歯科病院長あいさつ

歯科放射線学教授 岡野 友宏

私たち昭和大学歯科病院の務め、それは口と歯の病気を予防し、また失われた機能を回復すること、その診療と研究を通じてあらゆる人の健康に貢献することです。

本院には様々な訴えをもった患者さんが来院されます。最近では日々の歯の管理に不安のある方、もっと美しい口許、きれいな歯を求める方が増えてきました。私たちはそういう方を拝見して、まずは健康度をチェックし、ひとりひとりに合ったお口の管理法をともに考えます。ときには歯並びをそろえる矯正治療や歯の変色をなくす治療も選択肢としてお示しします。重要なことはそれが科学に基づいた知識と技術であること、しかも個々の患者さんにふさわしいものであることです。

一方、ときには口の中に小さな“でき物”ができて、近くの歯医者さんから紹介される患者さんもいます。幸いにして一時的なでき物のこともあります。ときに悪性の病気のことがあります。患者さんは診断から治療、そしてその後のことで不安いっぱいになります。私たちにはその領域の治療のエキスパートがいます。さらに心強いことに昭和大学病院をはじめとして化学療法や放射線治療などの関連各科と連携することにより、高い治療成果と質の高い QOL が得られます。

ご高齢な方でもお元気な方がたくさんいらっしゃいます。しかし70歳を過ぎると様々な疾患を合併していることが多くなります。本院では内科を併設しています。歯科診療は多少とも侵襲があります。患者さんが望まれるときや、歯科医師が必要と判断したときには内科を併診しながら安心して歯科診療をお受けになれます。本院には高齢な方を専門とする診療部門があります。場合によっては脈や血圧をモニターしながら診療を受けることもできます。また高齢者でなくとも、歯科診療に特に不安を抱かれる方にはお申し付け下されば、必要な対応をいたします。

さて、本院は大学の附属病院です。開発されたばかりの医療や先進医療を積極的に取り入れています。歯科医療の発展のために大学病院に負わされた使命でもあります。そうした医療が患者さんに適してい



ると判断されたときには、その利害得失をよく説明した上で、患者さんが納得したときのみ、それを採用します。断ったことで不利益をこうむることはありません。あくまで両者の合意の下で行われます。

もう一点、大学病院では将来を担う歯科医師を養成しています。5年生になると“臨床実習”と称して患者さんの前に出て、指導医のもとで診療に従事します。その“資格”を得るために全国一斉に行われる共用試験において、70点以上を得た学生のみを登院させています。幸いにして本学学生は全国的に高いレベルにあります。患者さんの前では“院内生”であることを自己紹介し、診療に関わることの理解を得ます。よろしくご協力のほどお願いいたします。万一、不快な思いをされたときには遠慮なく、主治医にお伝えください。

以上、本院の特徴をご説明するとともに、いくつかのお願いをいたしました。本院では患者さんが安心して安全に、質の高い診療を受けられることを第一に心がけております。それが実現して初めて研究や教育が可能となります。何卒、ご理解のほど、重ねてお願い申し上げます。

H19年度入学式挙行される

歯学部長 宮崎 隆

荘厳な雰囲気の中、明治神宮の森の中にある明治神宮会館において、去る4月6日(金)午前10時より、平成19年度の昭和大学入学式が厳粛に執り行われました。今年は3月下旬から天候が変わりやすく、4月に入ってから東京に雪が降り、入学式の天気心配でした。しかし、当日は朝から爽やかな青空になり、桜の花もまだ持ちこたえ、新入生の門出を祝う素晴らしい日になりました。会館内の大講堂は、医歯薬保健医療学部合計606名(編入生を含む)の新入生と保護者で、2階までびっしり埋まりました。細山田学長の告辞と小口理事長の祝辞のあと、各学部の新入生が一人ずつ紹介され、各学部の代表が宣誓を行いました。歯学部からは101名(編入生5名を含む)を代表して、佐藤勇樹君が、超高齢社会を迎え、広い知識と優れた技術を身につけるだけでなく、豊かな人間性を兼ね備えた歯科医師として、保健、地域医療、福祉など、あらゆる分野で社会に貢献できる医療人を目指して頑張りたいと力強い宣誓をしました。校歌を斉唱して入学式は閉会しました。

入学を祝す

歯学部長 宮崎 隆

新入生の皆さん、厳しい受験競争を勝ち抜いて、昭和大学歯学部にご入学おめでとうございます。昭和大学歯学部は昭和52年に創設され、30周年を迎えました。昨年11月には今後のさらなる発展を期して、30周年の記念講演会、式典、および記念誌の発行をおこないました。皆さんにはこれから昭和大学歯学部の新しい歴史を築いていって欲しいと思います。



我が国では急速な超高齢社会を迎えて、医療、さらに保健・福祉を取り巻く環境が変化し、医療専門職に対する社会の要求が変わりつつあります。新しい時代の歯科医療を遂行するためには、医師、薬剤師、看護師、作業療法士、理学療法士を始め、多くの医療関係者とのチーム医療が必要になります。この点で、医学部、薬学部、保健医療学部がそろった本大学は最高の環境といえます。

昨年度から富士吉田キャンパスでは、従来からの医歯薬3学部の1年生だけでなく、保健医療学部の1年生も一緒に寮生活を送りながら学んでいます。講義室や食堂、寮などの設備も順次整備し、教育環境の向上が図られています。また運動設備も充実しています。富士吉田キャンパスの1年間は、講義、寮生活、そしてクラブ活動を通じて、チーム医療の一員としてそれぞれの専門領域で社会貢献できる医療人の育成という昭和大学全体の教育目標を達成するために、非常に重要な1年になります。皆さんは将来に対する夢を持って、社会の期待に応える医療人を目指し、これから充実した学生生活を送ってほしいと思います。

現在、世界の主要な医科系大学では、PBL(ピービーエル)と言って、問題解決型学習、すなわち、学生が先生の講義を受け身で聞くだけでなく、教材から自らが問題点を抽出し、それを自分の力で解決する教育方法が導入されています。昭和大学においても大学全体としてPBLを推進してきました。今年度からは、1年次カリキュラムの中で、医歯薬保健医療学部の学生と一緒に同じテーマでPBLを行います。1年次から学ぶ力を向上させ、チーム医療の一員になるという意識を高めて欲しいと思います。

今歯科界では、生活習慣病の一つである歯周病の予防と治療、さらにメンテナンスを通じて、生涯国民が自分の歯で食事をして口腔から健康を維持していく目標(これを8020運動、すなわち80歳で自分の歯を20本残す目標)に取り組んでいます。新入生には、早速第1週目のオリエンテーションで、歯磨きの体験指導が準備されています。まず自分の健康のためにきちんとした生活習慣を身につけると同時に、専門家

の卵として家族や知人、友人に正しい歯磨き方法を指導してみてください。

新入生の皆さんが将来への夢をもって、スタートの1年目を富士吉田キャンパスで有意義に過ごし、一回りも二回りも大きく成長して、旗の台キャンパスに進学してくるのを楽しみにしています。

H19年度大学院入学式

大学院運営委員長 中村 雅典

4月1日(日)に昭和大学大学院入学式が上條講堂においてとりおこなわれました。保健医療学部が誕生し、また、大学院研究科が設置されたことにより、医系総合大学として名実ともに第1級の大学になったことをうけて、この大学院入学式は昭和大学の歴史において今年度始めて挙行されました。

開会の辞のあと、細山田明義学長から“大学院生としてそれぞれの分野でリーダ的立場になるよう奮闘するべし”という力のこもった告示を頂きました。その後、小口勝司理事長、安原一医学研究科長、宮崎隆歯学研究科長、工藤一郎薬学研究科長、副島和彦保健医療学研究科長による祝辞、学生による宣誓、校歌斉唱を経て終了しました。新入生は医学研究科54名、歯学研究科26名、薬学研究科前期博士課程69名、後期博士課程3名、保健医療学研究科11名です。

入学式終了後、各研究科毎のオリエンテーションが行われました。歯学研究科26名のこれからの実り多き研究生生活を祈念いたします。



公開講座のお知らせ

広報委員長 五十嵐 武

第34回 (春季)旗の台公開講座

日時:平成19年5月12日(土)、14:30~16:00

場所:昭和大学旗の台校舎4号館6階600号教室
(第2講演)

演題:【口の中のこわい病気

— 口のがんの見つけ方 —】

講師:昭和大学歯学部教授

(顎口腔疾患制御外科学)新谷 悟

卒後研修始まる

総合診療科 長谷川 篤司

4月2日(月)平成19年度昭和大学歯科病院歯科医師臨床研修プログラムが始まりました。本年度より従来の学内研修6か月間、学外研修(主に病院歯科あるいは開業歯科医院)6か月間からなる、いわゆる臨床研修施設群方式のプログラムAに加え、学内研修12か月間の単独型研修のプログラムBを併設いたしました。先の国家試験結果発表(3月28日)によりプログラムA75名、B1名の研修医が正式採用に決定しています。

4月2日の昭和大学入職式では小口理事長、細山田学長の訓示に続き、特別講演「人権啓発」、「医療安全」を受講しました。歯科病院における1週間のオリエンテーション期間では事務手続きや注意だけでなく、臨床に即応した多くの講義や示説を軸に、保険医講習会、接遇の特別講演などを経験します。

岡野病院長(臨床研修管理委員長)は研修開始にあたり、“臨床研修の主人公は研修医自身であり、自発的な研鑽意欲を啓発し、積極的な説明(主張)を通してコミュニケーション能力を涵養して欲しい”と研修医に訓示しました。

学外研修先あるいは学内専門診療科への群内マッチングは、すでに3月中に実施済みであり、4月9日(月)から研修医はそれぞれ希望する研修先に出向して本格的な研修に入ります。



臨床研修医修了式

総合診療科 長谷川 篤司

3月31日(火)歯科病院第一臨床講堂にて平成18年度臨床研修医修了式が執り行われました。臨床研修必修化初年度である本年度は95名の研修医が研修修了認定を受けました。まず、川和歯科病院長から研修修了にあたり、歯科医師の生涯学習などについての訓示を受け、一人ずつに修了証が授与されました。次いで、宮崎学部長と長谷川総合診療科長から1年間の研修に対する労いと祝辞が贈られました。この後、本年度臨床研修における優秀研修医として市川麻里江、吉村健太郎、上村祐加、山中麻美の4名が表彰を受けました。当日研修医は正装で集合し、修了式は厳かな雰囲気で行われました。

修了式後、2号棟地下レストランにて祝賀パーティーが開催され、外川事務長より祝辞が贈られました。パーティーでは修了式とは逆に、指導医あるいは研修医同士1年間の感謝と親交を確認しあい、和やかな雰囲気のうちにお開きを迎えました。



香港大学からの選択実習受入れ

国際交流委員会 山本 松男

平成19年2月24日から3月1日までの一週間、香港大学歯学部選択実習(派遣先は海外のみ)として香港大学歯学部5年生(最終学年)のエリック・ワンさんを昭和大学歯学部で受け入れました。目的は日本における歯科教育の見学と、歯科医療の仕組みを学ぶことでした。口腔解剖学、インプラント科、高齢者歯科、歯科矯正科、歯科放射線科、歯周病科において講義、見学を中心に過ごしました。ご協力に感謝いたします。

香港大学歯学部は香港で唯一の歯学部であり、少数精鋭の教育をほとんど全てPBL形式で行っています。大学は5年制で、臨床実習は2年次のスケーリングにはじまり臨床参加型の教育方法を取り入れています。私たち昭和大学でもPBLを取り入れた新しい教育方法に取り組んでいますので、ワンさんの知識、到達度、日本の歯科に対する感想などに大変興味がありました。一週間お付き合いしてみて、母国で求められる医療や取り巻く環境に差はあるものの、卒後十分立派な医療人として従事していけるレベルに到達しているという印象をもちました。

昭和大学歯学部と香港大学歯学部は2月15日に国際交流協定を締結したばかりです。選択実習に限らず、相互の交流がますます盛んになることを願っています。



ハイテク・リサーチ・センター研究発表会

口腔生化学教室 宮本 洋一

昭和大学歯学部ハイテク・リサーチ・センター平成18年度研究成果発表会が3月17日(土)、歯科病院第1臨床講堂および第1会議室を会場として開催されました。昭和大学大学院歯学研究科は、平成17年度に文部科学省のハイテク・リサーチ・センター整備事業に選定され、5か年間の予定で「顎口腔機能障害の発症機序究明とその機能回復に関する先進的研究」を実施していますが、今回は、その2回目の研究成果報告会で、特別講演会に続いて各研究班の研究成果についてポスター討論が行われました。

第一部の特別講演会では、国立長寿医療センター病院先端医療部口腔機能再建科・医長の角 保徳先生による「口腔機能回復に関わるケアシステム、口腔ケア支援機器の開発」、昭和大学歯学部口腔病理学講座・教授 立川哲彦先生による「癌細胞の進展における分子基盤の解明 特に、癌細胞の特異遺伝子とタンパク発現解析法およびその応用を中心として」のふたつの講演があり、いずれもこれからの歯学研究の方向を考える上で非常に示唆に富むお話を伺うことができました。

第二部では、「顎口腔機能障害の発症機序解明」班から7演題、「先進的診断・再建法の確立」班から8演題、「新しいリハビリテーション歯学の構築」班から4演題、計19件のポスター発表がありました。今回は、学内外から延べ150名の参加者がありました。第一部、第二部ともに活発な質疑応答が行われ、3年目に入る本プロジェクトの遂行にとって有意義なものとなったと思います。準備運営を担当した歯科矯正学教室、口腔生化学教室としましては、研究発表をされた先生方をはじめ、多くの皆様のご協力にこの場をお借りして御礼申し上げたいと思います。



診療統計 (平成19年3月分)

医事課課長 長谷 孝義

	患者数	1日平均	前月1日平均	前年1日平均
外来患者	20,378	783.8	769.6	845.7
入院患者	471	15.2	11.4	14.8

(土曜日半日も1日として扱うため、平均は見かけ上下がっている)

昭和大学歯学部同窓会学術委員会からのお知らせ 歯学部同窓会学術委員会広報担当 野中 直子

2007年度 第1回ポストグラデュエートセミナーを開催いたします。同窓生以外の方の受講も可能ですので、皆様是非ご参加ください。

- ◆日 程:平成19年5月20日(日)13:00~16:00
- ◆演題名:「免疫革命ー病気と自然治癒力ー」
- ◆講 師:安保 徹先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科 免疫学・医動物学教授)
- ◆会 場:昭和大学旗の台4号館5階500号室
- ◆受講料:歯科医師5,000円(当日6,000円)
:スタッフ3,000円(当日4,000円)

(日本歯科医師会生涯研修認定:生涯研修カード
をお持ちの方は、受付へ提出してください。)

今回のお申し込みの締め切りは、5月10日(木)です。お申し込み方法、お問い合わせは、昭和大学歯学部同窓会事務局までお願いいたします。

昭和大学歯学部同窓会事務局

TEL:03(3784)8077 FAX:03(3784)4029

行事予定

広報委員長 五十嵐 武

- 5月12日(土):昭和大学旗の台(春季)公開講座
- 5月14, 21, 28日:1年生4学部横断PBL
- 6月 2日(土):富士吉田校舎オープンキャンパス
- 6月11, 18, 25日:1年生4学部横断PBL
- 6月16日(土):昭和大学白菊の集い
- 6月23日(土):父兄会総会
- 6月30日(土):昭和歯学会総会

編集後記

広報委員(口腔衛生学) 弘中 祥司

今年のゴールデンウィークは1,2日を休みにすると9連休になります。桜のシーズンは北に移動しており4月30日が北海道の開花予想となっております。今年の東京のお花見は、少し寒かったように思いますが、皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。

4月から富士吉田キャンパスでの生活を終えて、旗の台キャンパスを「4号館はどこですか?」と、キョロキョロしながら歩いている新2年生たちもようやく落ち着いて勉学に、スポーツに力を入れている様子がキャンパス内でみられます。

また、記事にもありましたが、昭和大学では歯学部をはじめ、医学部・薬学部とPBLが真っ盛り。旗の台校舎の新設されたPBLルームが、連日満員で分刻みの利用状況です。他の学部はどんなPBLを行っているのかな?などと、少し気になってしょうがないのは私だけでしょうか?新しい教育手法を我々教員も楽しむ心の余裕が必要と感じております。